

平成29年度第3回境川町地域審議会会議録

開催日時 平成30年3月12日(月) 午後4時 開始
午後5時30分 終了

開催会場 境川町藤壘 境川支所大会議室

出席者 地域審議会委員 12名
欠席委員1名(桑原明)
角田支所長、深田

次 第 (進行:地域住民課リーダー)

1 開会

2 あいさつ

(会長)

今年度最後の審議会です。1年間ありがとうございました。市、町の発展にご尽力いただきありがとうございました。

本日も審議のほどよろしくお願ひしたい。

3 議事 (議長:会長)

(1) 境川町の課題について

説明 (地域住民課リーダー)

(会長)

境川町の人口減少は、難しい問題。それをくい止めるにはどうしたらいいかが一番の課題と考える。

市議会議員を境川地域から最低でも2名は出したい。

昨年は国内に沢山の自然災害による被害があった。幸い境川では被害が少なく、何よりであった。被害を最小限にするには日頃の備えが必要。多くの人から意見をもらい準備を進めたい。

大坪の降雨時の出水の問題については、2万トンの貯水池を作った。自動的に排水する仕組みになっている。

大坪工業団地の先にある砂原橋は特例債を使い完成しているが、橋の両端の接続道路が未整備のままである。

(委員)

地域審議会の運営は平成32年3月までとされている。なくなれば境川地域を代表する会がひとつなくなることになる。区長が全て把握していれば足りるのであろうが、いろいろな部分までは注意が回らない。期限とされる後も地域審議会のような組織を立ち上げるべき。諮問がなかったとしても区長会ひとつだけでは、町を運営する組織の数が少ない。町をまとめる組織は必要。

(会長)

出された意見は事務局でまとめて、本庁へ届けてもらいたい。2年後には区長会へお任せすることが出来るのか。検討を願う。

(委員)

区長会ではいろいろな問題が出ているが、市に届ける方法がわからない。連合区長会の際、リニアの問題など地区の議員と共有できるような協議の場がもっとあればいいと思う。議員と連合区長会での協議だけではなく、町内で議員との協議が出来ればと思う。区長と議員が話しを共有できる場は必要。地区のことを一番知っているのは区長だから区長がものを言える場所を整備してもらいたい。

(会長)

2年後に組織がなくなった時にどうするか町として結論を持ちたい。

(委員)

境川は市内でも早い段階で人口が減少する。地域審議会を残してもらいたい。区長だけでは大変すぎる。

(会長)

合併時、地域審議会は10年で解散ということで始まった。今では地域審議会をなくすと困る。事務局から市長へ提言してもらいたい。地域審議会を存続してもらいたい。

(委員)

今後も、地域審議会の継続を要望する。人口の減少に伴い、消防団員の確保は非常に難しくなっている。一宮、御坂は各部が統合してきているから問題がない。若い世代を見渡すと成人より下の年齢層が少しずつ少なくなっている。われわれの現役時代よりも6割減少している。現在の入団年齢は25歳くらいで入団するが、入団してもらうことに支障が出ている。境川でも今後2年くらいで統合をしなければならないと思う。

区長の任期も現区長は1年任期となっているが、周りをみると2年任期のところもあるのでそのほうがスムーズ。区長の任期を延長する必要があるのではないか。

また、地域審議会の委員は大人目線だが、時には子供目線で意見を聞いてはどうか。

(会長)

区長会の中でも2年任期の地区もある。任期を2年にすればいいと思う。市長に対して提言してもらいたい。

(委員)

今シーズンは雪が少なかった。少ない雪でも小学校の先生は板額坂など雪かきをする。雪かきをしなければことが回らない。寺尾の方は、消防団が雪かきをしている。我々が見ている地域による雪かきが出来ていない。子供たちが活力を持って住めるようにすることが大切。昔は地域全体が協力体制で雪かきをした。自分の敷地は雪をかくが、歩道まで除雪する協力体制がない。境川は市の中で埋没しないように、若い人が伸びていくような地域審議が出来ることを願う。若い人の意見を反映するように、PTAなどの人も入って、地域の今後をどうしていくべきか、検討するための組織を継続していく必要がある。

(会長)

雪かきは地区で協力してもらっている。建設業協会の業者が少なくなっている。前間田区の例で言うと、雪が降ると区長が区民に対して、放送で雪かき作業を呼びかける。他の地区でも同様であると思う。

(委員)

市道の除雪は行政が除雪するとして、地域全体で、歩道の除雪は、周辺住民が除雪する体勢を検討する必要がある。

(会長)

区長会が中心になって、除雪の体制整備を検討する必要がある。そういうことを市に対して提言してもらいたい。

(委員)

区長の任期について2年となっているのは間門区だけ。1年任期では新しいことを決めようと思っても決まらない。行政区ごとに組織する消防団の統合について、本腰を入れて短期間で方向性を出してもらいたい。境川小学校は今年も1クラス編成で、これを見れば未来の境川の人口がわかる。消防団員の数も想定できる。さらに、地域に若い人がいても消防団に入団しない。

地域審議会を存続し、地域全体の課題として捉え、自分たちで考えたことを市に働きかけをしなければ出遅れてしまう。

(委員)

団員定数を減らす予定がある。202人から170人になるとのこと。統合した場合でも、詰所を新たに建築するが区がただで消防に貸し出す。その時は、地権者から同意を得て用地を提供するという条件がある。消防の合併の話はすぐに決まらない。区の意見を聞く必要があるので、次期区長にも伝えてもらいたい。

(会長)

先日、消防協力員の話しを聞いた。消防団員を減らして年寄りなど協力員を増やすのか。

(委員)

御坂町藤野木区は、日中も人がいない。留守中に火災が起きた時に、高齢者が対応した。境川でもいずれ同じようになる可能性がある。

(会長)

消火栓はほとんどの地域に普及している。防災の日に訓練状況を見てみると、消火栓を使える人はいない。団員に指導をしてもらっても女性には大変な作業。

しかし、訓練は繰り返し行う必要があり、区長会を始め、消防団に協力を求め、防災訓練だけでなく定期的を実施する必要がある。

(地域住民課リーダー)

地域審議会設置の期限が設定されている平成 32 年以降も地域審議会と同じ機能を存続できるよう本課の担当に相談する。

(2) その他

・境川町の問題等抽出表について

説明（地域住民課リーダー）

【質問・意見】 なし

・民生委員の地区見直しについて

委員から提案

(委員)

境川町民生委員は現在 16 名いる。人口の地区別一覧をみればわかるとおり、小黒坂には 241 世帯ある。各区の世帯数と役員の割当数がアンバランス。

今後、民生委員の地区見直しについて提案をしていきたい。

【質問・意見】 なし

・黒坂里道林道 PR 事業について

説明（地域住民課リーダー）

【質問・意見】

(委員)

林道のイベントには農協も協力団体に含めたらどうか。

(地域住民課リーダー)

本日、説明した事業内容は全くの構想段階。今後、具体的な計画検討の際に確定していく。

(委員)

林道の石は拾うのか。

(地域住民課リーダー)

支所は、林道規制の解除について要望書を提出した。林道整備についても県に依頼する。

4 その他

5 閉会（副会長）